

当社 環境への取り組み 2001～

- 2001年 家電リサイクル法施行に呼応し、分別廃棄に貢献する取り外し可能なリサイクル部品群を開発、販売開始
- この頃よりお客様から当社部品に環境負荷物質が含有されるかの環境調査が寄せられるようになる
- 初年度125件だった環境調査は欧州RoHS指令が公布された2003年には783件に急増、RoHS指令が施行（2006年）となる前年には3792件の環境調査に対応、以来年間平均3500件のお客様からの環境調査に対応している
- 2004年 ISO14001認証取得
グリーン調達推進委員会発足（翌年グリーン調達対策プロジェクトに名称変更）
ISO14001の活動の下、節電、廃棄物の削減、環境負荷物質管理を社内で推進
- 2005年 当社カタログに業界初となるRoHS指令対応マークの表示を開始し、各部品における環境負荷物質適合状況の早期情報公開に努める
- 2006年 クールビズを導入しつつ、夏場のエアコン設定温度を27℃と定める
- 2011年 流通センターにて照明をLED化、全400本をLED化することにより38%の節電効果を確認
- 2012年 営業車全27台のハイブリッドカーへの随時切り替え開始
2023年4月において寒冷地仕様の1台を除く、全26台のハイブリッド化終了予定
- 2014年 羽田工場にて照明のLED化開始（2022年10月現在119本／380本 31%）
- 2015年 名古屋営業所移転に伴い、照明をLED化
- 2018年 大阪営業所にて照明をLED化
- 2019年 本社にて全367本の照明をLED化
- 2021年 羽田工場にて軽商用車をEV化（当社初の電気自動車導入）
- 2022年 カタログ改訂にあたり、FSC認証用紙使用、グリーンプリンティング認定工場による印刷を実施（水なし印刷、植物油インク）